

米山(谷根) 山行記録



入山口の石仏



コース上から山頂

目的地	米山(谷根コース)	期 日	平成18年10月9日(月・祝)
山人	笠原正雄単独	特 記	前日に谷川馬蹄形縦走を狙い現地入りしたが、風雨・突風で引返しここへ。

地点名	(着)～(発)	天候	記 事
与板発	午前7:45	晴	西山IC～米山IC。米山ICから少し戻って青海川・谷根方向へ
猿飛橋	9:05	〃	谷根集落で道を聞く。谷根川の深い谷に架かる歩道橋を渡り、木杭の階段道から登りが始まる。すぐに左手に柏崎山岳会の谷根山荘が建っている。
眺湖台	9:20	〃	尾根に上り、谷根ダムと湖が望める。長袖とベスト着用で歩いている。
刈払い人に会う	9:40		牛の寝場の小広場ののち、一人の男が刈り払いをしていた。
立ち休み	10:00～10:05	〃	この10分ほど前に右手の樹林が切れて平野を展望出来る。腰痛ベルトを着用のまま歩いている事に気付き、これはずす。やや急登から緩登へ。
広尾根の下りへ	10:15頃	〃	ここまで登りが続いたが、緩やかな長い下りが始まる。途中赤布あり。
白蛇池	10:30	〃	標高602m/谷根口へ1:15/山頂へ1:20の標識あり。池は小さく僅かに湿っている程度。この後、少し登ってから降ろされる。
休む	11:00～11:05	〃	小刻みに緩やかな登降を繰り返す。登りとなって木の根に腰を降ろす。この辺りから木々の間から時折山頂が見え始め、小屋もはっきり見える。左右の沢音が交互に聞こえて来る。
下山者が来た	11:20	〃	この辺りから、岩交じりの登りが現れる。大平からの男と会う。
熊野権現	11:40	〃	小ピークの三叉路。標高887m/野田口へ2:00/谷根口へ1:55/山頂へ0:20の標柱。一度降ろされて、急登となる。木の根を掴んだり、四つん這いになって掻きあがる所もある。傾斜が緩んで、やせ尾根となると、東側が切れ落ちている箇所を通過する。尾根に一部地割れがある。この前後は歩行には問題ないが、草が道を覆っている所もある。
山頂	12:05	〃	谷根コース終点に山座円台がある。馴染みの山が記されているが、その山は雲で見えない。数人が居た。つぶれた石の祠をバックに写真を撮って貰う。すぐに小屋へ向かい1階のテーブルに寄せてもらった。2階は無人。
小屋でランチ	12:10～12:20	〃	天気が良いので外で休んでいる人のほうが多い。テーブルには60歳半ばの単独男、地元の人1女2の隊。この3人のうちの一人の女性が、今春八石山の小屋で一緒だったIさんである。話が弾んで楽しいランチタイムとなった。しばらくすると親子連れと若者達が入室してきた。
下山開始	12:35	〃	外で海岸線の景色を楽しむ。無銭上山のため落語もどきに誰かがお参りする賽銭の音に合わせて拍手を打つ。暑くなってベストを脱いで歩く。
猿飛橋	15:55	〃	眺湖台上部で登山道の確認に上がってきた地元山人と会い、少し会話する。国道に戻り、風の丘米山で魚を買い、高速利用で帰宅する。

谷川岳縦走くずれで、一日空いたため、以前から気に掛けていたこのコースを歩いた。山頂は20人程度居たが、大平コース他からの人であろう。谷根コース上では、上記以外の人無く、静かな山旅となった。大平コースの階段登りや、人混みを考えれば、歩行程は長いものの山に浸るならこちらの方が良い。

与板十五夜祭りののち膝が痛み出した。階段の上り下りやひねり具合で少し辛く感じるようになった。もう格好などとは言ってられない。少々値が張ったが、膝の皿の左右のずれを防ぐサポーターを両膝分購入した。そして毛猛山入山口確認でのヤブ漕ぎののち更に痛みが増して来た。今回それをしっかり巻いて歩いた。かなりの効果を見た。数日後には日常の階段の登降もなんなら問題が無くなった。一時は心配したが、これで一安心である。

